

株式会社エクストランス

X-MON 3.3.0

アップデート内容

内容

環境	3
対応 OS の変更	3
関連アプリケーションの追加	4
機能追加	5
グラフ機能.....	5
稼働率	8
サービス一括削除	10
自動復旧エスカレーションコマンド	10
AWS カスタムメトリックス監視	11
NRPE 任意監視.....	11
IIS 再起動コマンド Windows2012R2 対応	11
変更箇所	12
管理者メニュー再編・ページ遷移改修	12
イベントログ保持期間延長	14
AWS 新リージョン対応.....	14
AWS/RDS 空き容量の監視プラグインのしきい値指定方法の変更.....	14
Windows イベントログ監視機能	15
ステータス情報の表示ログ件数の選択機能.....	15
過去の警告履歴の保存・参照機能.....	15
不具合の修正.....	16
API メソッドの不具合修正.....	16
ログインの不具合修正.....	16
イベントログの不具合修正	16
サービス一覧表示の不具合修正	16
ビジュアルマップの不具合修正	16
Web 改ざん警告管理の不具合修正	16
Windows イベントログ警告管理の不具合修正	16
監視テスト機能の不具合修正	16
監視の不具合修正	17
AWS/EC2 トラフィック監視	17
VMware トラフィック監視	17
WEB 改ざん監視	17

環境

対応 OS の変更

Red Hat Enterprise Linux 7 に対応いたしました。

Red Hat Enterprise Linux 5 に関しては、今回のアップデートが最終のメジャー、マイナーバージョンアップとなり、以後は不具合対応のバージョンアップのみとなります。

Red Hat Enterprise Linux 7 サーバを利用される際の注意点

- コマンドラインでの X-MON の再起動について

Red Hat Enterprise Linux 7 では以下のコマンドで X-MON 起動・停止・再起動を制御します。

/usr/local/sbin/x-mon-restart : X-MON プロセスを再起動します。

/usr/local/sbin/x-mon-start : X-MON プロセスを起動します。

/usr/local/sbin/x-mon-stop : X-MON プロセスを停止します。

コマンド発行例

```
[root@localhost ~]# /usr/local/sbin/x-mon-restart
Stopping nsca (via systemctl): [ OK ]
Stopping x-mon (via systemctl): [ OK ]
Starting x-mon (via systemctl): [ OK ]
Starting nsca (via systemctl): [ OK ]
[root@localhost ~]# /usr/local/sbin/x-mon-stop
Stopping nsca (via systemctl): [ OK ]
Stopping x-mon (via systemctl): [ OK ]
[root@localhost ~]# /usr/local/sbin/x-mon-start
Starting x-mon (via systemctl): [ OK ]
Starting nsca (via systemctl): [ OK ]
```

Red Hat Enterprise Linux 6、Red Hat Enterprise Linux 5 のサーバを利用されている場合、従来通り「service」コマンドもしくは「/etc/init.d/x-mon」コマンドをご利用ください。

- X-MON のバックアップについて

Red Hat Enterprise Linux 6 以前のサーバにインストールした X-MON で取得したバックアップファイルを、Red Hat Enterprise Linux 7 サーバにインストールした X-MON にリストアすることが可能です。

しかし、Red Hat Enterprise Linux 7 サーバにインストールした X-MON で取得したバックアップファイルを、Red Hat Enterprise Linux 6 以前のサーバにインストールした X-MON にリストアすることはできません。

関連アプリケーションの追加

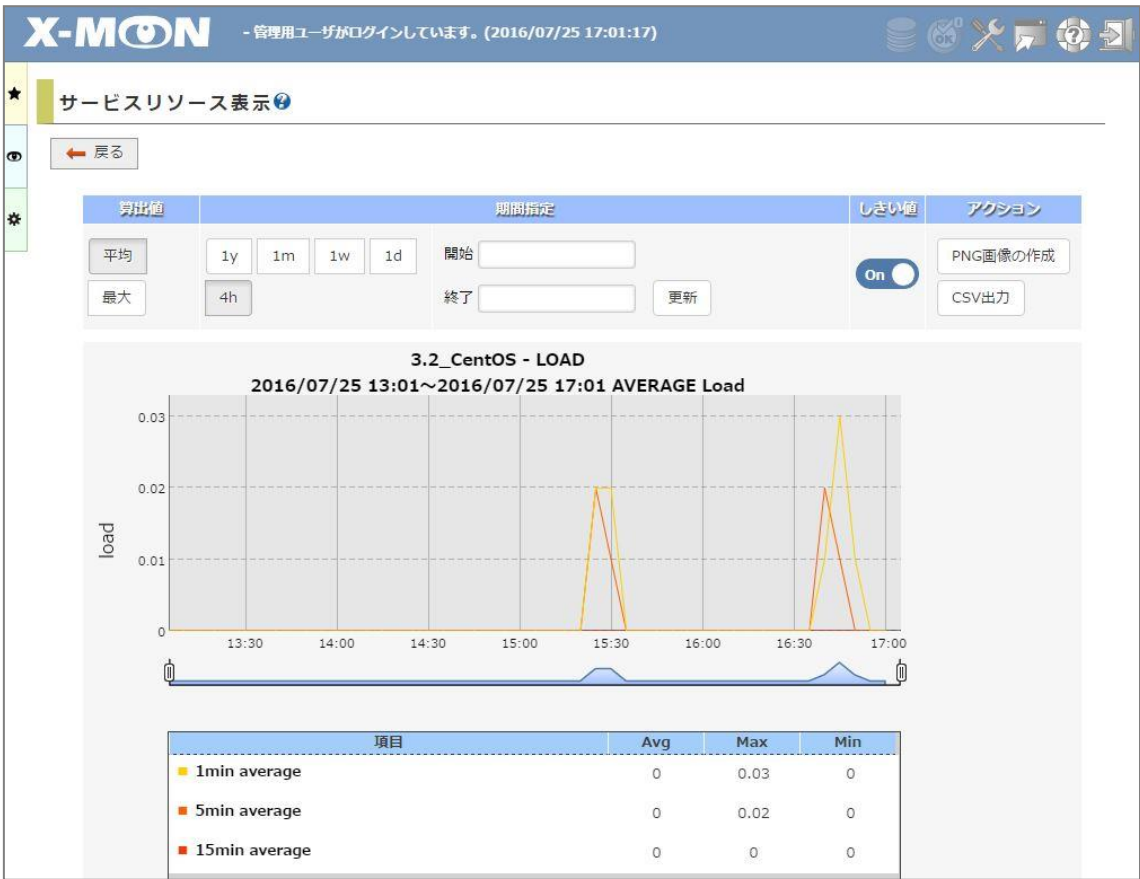
Zend OPcache を追加し、管理画面全体の速度を向上させました。

rrdcached を追加し、グラフ関係のサーバ負荷を軽減させました。

機能追加

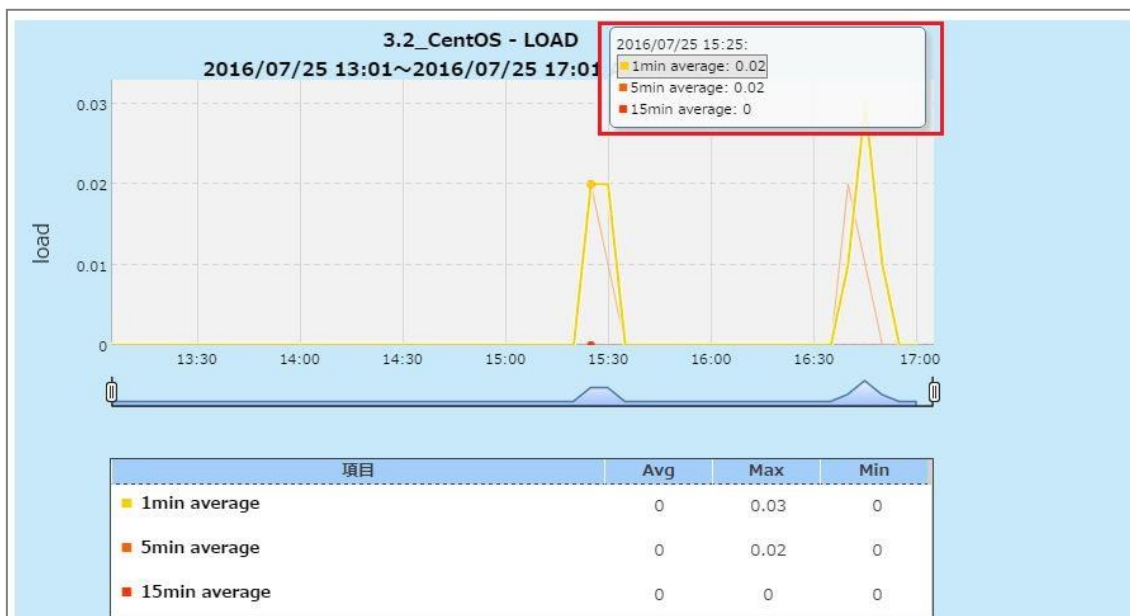
グラフ機能

グラフの画面を大幅に変更しました。
直感的な操作で、グラフデータの確認が行えるようになりました。

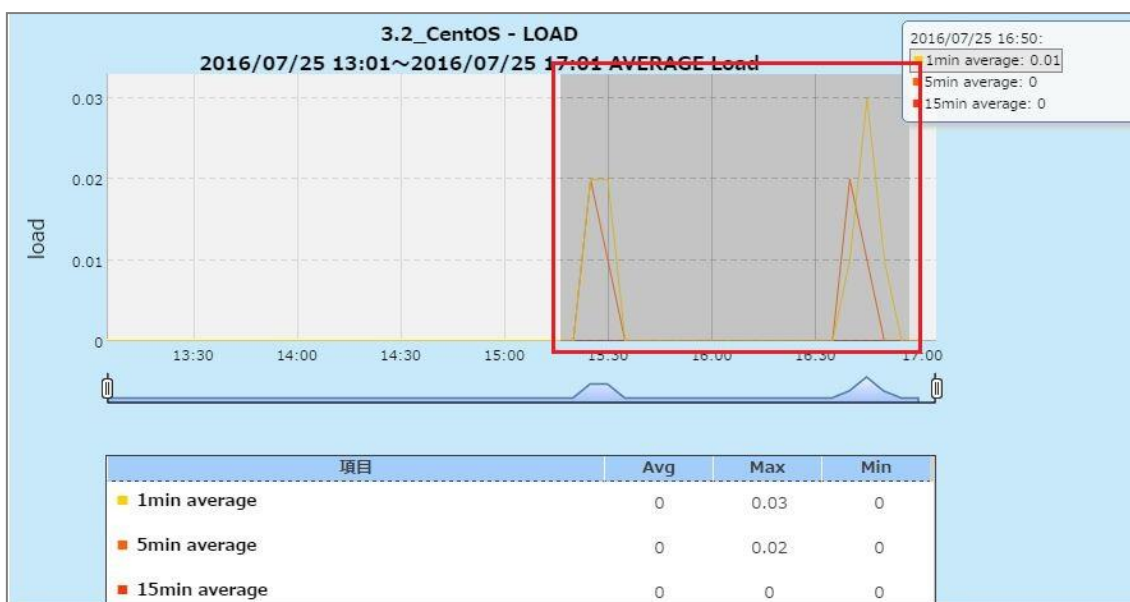


以下の操作が新たに行えるようになっていました。

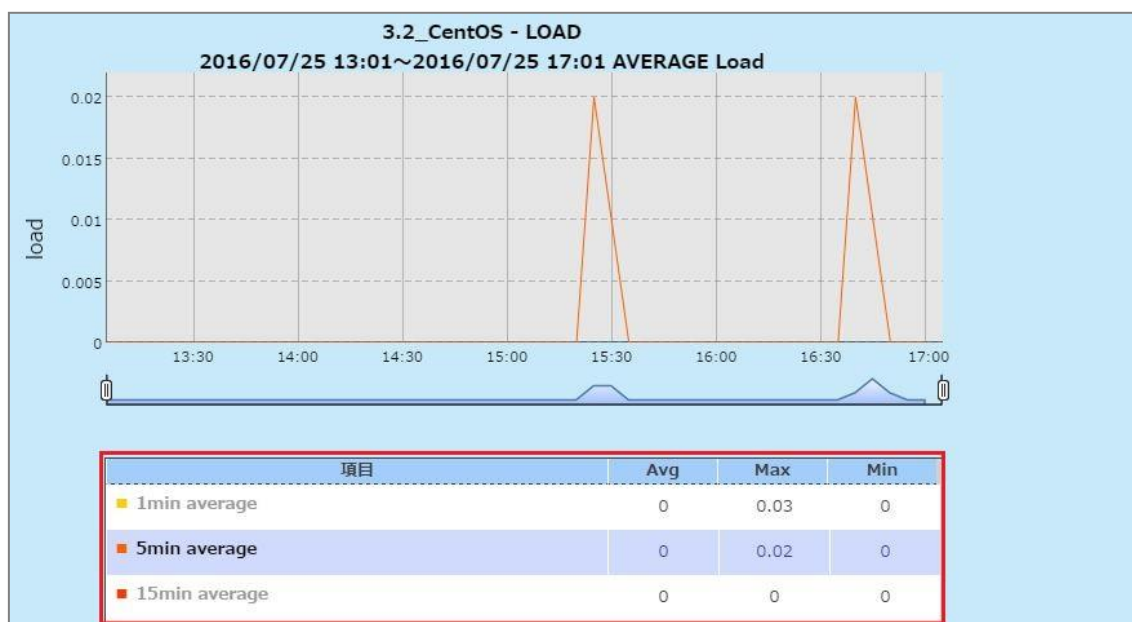
- ・ グラフ上にマウスオーバするとその時点でのデータを表示します。



- ・ マウスドラッグで範囲選択を行うと、選択範囲内のより詳細なデータを確認ができます。



・項目名をクリックするとグラフラインの表示の ON/OFF を切り替えることができます。



稼働率

監視メニューに稼働率の表示機能が新たに実装されました。
指定した期間のホストやサービスの稼働率を算出します。



The screenshot shows the X-MON web application interface. The top header displays the X-MON logo and the text '- 管理用ユーザがログインしています。 (2016/07/25 17:06:12)'. The left sidebar contains navigation icons, with the '稼働率' (Uptime) icon highlighted. The main content area is titled '稼働率' and contains the following sections:

- ホストの選択** (Host Selection): Includes a dropdown menu currently showing 'X-MON', buttons for '↑ (選択)' (Select) and '↓ (外す)' (Exclude), and a text input field containing '--- X ---'.
- サービス稼働率を表示する** (Display Service Uptime): A checkbox that is currently checked.
- 算出期間** (Calculation Period): A section with a light blue background containing two date and time pickers. The first picker shows '2016' year, '07' month, '25' day, '00' hour, '00' minute, and '00' second. The second picker shows '2016' year, '07' month, '25' day, '23' hour, '59' minute, and '59' second.
- ダウンタイム** (Downtime): A section with a checkbox labeled 'ダウンタイム期間を除外する' (Exclude downtime period), which is currently checked.
- Buttons:** At the bottom, there are two buttons: '→ 算出' (Calculate) and '↓ EXCELダウンロード' (Download Excel).

稼働率は任意のホストを選択し、対象とする期間を指定して、算出ボタンを押すことで結果が表示されます。

管理用ユーザがログインしています。{2016/07/25 17:06:12}

★

🔍

⚙️

📊

📄

🔧

🔔

🔑

ダウタイム

☒ ダウタイム期間を除外する

➡️ 算出

📄 EXCELダウンロード

X-MON(X-MON)

ホスト稼働率

稼働(UP)	停止(DOWN)	未到達(UNREACHABLE)
100.000 %	0.000 %	0.000 %

サービス稼働率

サービスID	正常(OK)	警告(WARNING)	異常(CRITICAL)	不明(UNKNOWN)
PING	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
Qdelete	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
services_add_TEST	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_cron	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_DISK	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_nsca	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_pgsql	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_postfix	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_rsyslog	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_snmp	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_snmptrap	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %
XMON_CHECK_snmpvtt	100.000 %	0.000 %	0.000 %	0.000 %

算出の計算式に関しては、オンラインヘルプを参照してください。

サービス一括削除

サービス設定一括変更画面で、選択したサービスの「一括削除」が行えるようになりました。

ホストに関しては、従来通りホスト一覧にて、チェックボックスで削除する形になります。

自動復旧エスカレーションコマンド

以下の監視用コマンドの補助機能としてエスカレーションコマンドが追加されました。

対象のサービスプラグイン

- ・ Web コンテンツ改ざん監視
- ・ Web コンテンツ改ざん監視(一括監視)
- ・ WMI による Windows イベントログ監視
- ・ WMI による Windows イベントログ監視(自動復旧)

これまで、上記のサービスプラグインを利用した監視では
障害発生後の復旧を、以下の管理画面で削除することで行っていました。

警告管理画面

- ・ Web 改ざん警告管理
- ・ Windows イベントログ警告管理

本バージョンより、以下のエスカレーションコマンドを、
上記のサービスプラグインを利用した監視サービスに設定しておくことで、
障害発生時に管理画面の操作を行わずに自動で障害を復旧できるようになりました。

新規実装されたエスカレーションコマンド

- ・ Web 改ざん警告リセット
- ・ Windows イベントログ警告リセット

AWS カスタムメトリックス監視

AWS の CloudWatch にて標準メトリックス以外にも、設定を行なったカスタムメトリックスの値を、X-MON で監視・グラフ表示が行えるようになりました。

AWS カスタムメトリックス監視のサービスプラグインにて監視設定を行って下さい。

NRPE 任意監視

NRPE 経由で任意のコマンド発行結果を監視する、サービス監視用コマンドが追加され、監視対象に設置したコマンドを、X-MON から実行し監視を行えるようになりました。

IIS 再起動コマンド Windows2012R2 対応

エスカレーションコマンドの「IIS 再起動」コマンドが、Windows2012R2 に対応しました。

変更箇所

X-MON3.3.0 にて以下の変更が加われました。

管理者メニュー再編・ページ遷移改修

管理者メニューの表示が変わりました。

関連する設定内容ごとにグループ分けされており、

「>」マークをクリックするとグループ分けされた内容が展開されます。

The screenshot displays the X-MON management interface. At the top, a blue header bar contains the X-MON logo and the text "- 管理用ユーザがログインしています。(2016/07/25 17:05:13)". Below the header, a left sidebar lists the "管理者メニュー" (Administrator Menu) with various options, some of which are expanded with a green background. The main content area on the right shows a search bar with a "検索" (Search) button, a table of system status, and a section for "外部リンクの編集" (Edit External Links).

DOWN	UNREACHABLE	PENDING
0	1	5

ARNING	UNKNOWN	CRITICAL	PENDING
8	0	26	7

グループ内の管理画面には、上部のリンクから遷移できるようになりました。

X-MON - 管理用ユーザがログインしています。(2016/07/25 17:17:36)

★ ホスト一覧

ホスト・サービス管理 | ホストグループ管理 | サービスグループ管理 | アイコン管理 | 構成管理 | ドキュメント管理

検索

新規作成 | かんたん監視登録 | ネットワークからホストを検出する | 削除 | 削除と承認

ID	名称	IPアドレス/FQDN	エスカレーション設定数
00Sensor.x-trans.jp	IOT・温度湿度気圧等監視	127.0.0.1	有効: 0, 無効: 0

詳細表示 | サービス設定 | ホストエスカレーション設定

また、各管理画面の上部または下部のみに表示されていた画面遷移のための操作ボタンが上下どちらにも表示されるようになりました。

X-MON - expoがログインしています。(2016/07/25 13:23:04)

★ ホストグループの詳細

戻る | 編集

ホストグループID(英数字)
AWS-CLOUD

ホストグループ名称
AWSインスタンスグループ

グループに含めるホスト
RDSインスタンス
AWS-S3
ELBインスタンス
一括請求アカウント
EC2インスタンス
EC2インスタンス

共有リンクの設定
無し

戻る | 編集

イベントログ保持期間延長

これまで 6 カ月保存していたイベントログを 2 年間保存するように変更しました。

AWS 新リージョン対応

フランクフルトリージョン、ソウルリージョンが選択可能になりました。

AWS/RDS 空き容量の監視プラグインのしきい値指定方法の変更

AWS/RDS の空き容量を監視する以下のプラグインのしきい値の設定方法を変更しました。

対象のサービスプラグイン

- ・ AWS/RDS 空きストレージ監視
- ・ AWS/RDS 空きメモリ監視

これまで、上記プラグインの監視しきい値で、空き容量が一定の値を下回った時に異常とするためには、数値の後に「:(コロン)」を記載する必要がありましたが、自動的に「:(コロン)」を付与し、下限値を下回った時に異常となるように調整いたしました。

従来通り、しきい値を上回った場合に警告を発生させる場合は、数値の前に「:(コロン)」を記載する必要があります。

Windows イベントログ監視機能

対象のサービスプラグイン

- ・ WMI による Windows イベントログ監視
- ・ WMI による Windows イベントログ監視(自動復旧)

上記のコマンドに以下の機能が追加されました。

ステータス情報の表示ログ件数の選択機能

これまで、一度のチェックで複数のログを検出した場合、ステータス情報にログが 1 件しか出力されませんでした。検出したログを全て出力するように設定変更できるようになりました。

過去の警告履歴の保存・参照機能

Windows イベントログ警告管理画面で削除した警告が、過去の警告の履歴として保存されるようになりました。

バージョンアップ後に削除した警告は過去の警告履歴画面より確認ができます。

不具合の修正

API メソッドの不具合修正

API 経由でホストの追加を行った際に、指定した監視パッケージ ID を含む監視パッケージ ID も、合わせてサービス登録されてしまう不具合を修正しました。

ログインの不具合修正

X-MON 2.x の設定をコンバートした際に、X-MON 3.x で一度もユーザ情報を変更していないユーザがログインできない不具合を修正しました。

イベントログの不具合修正

大量のイベントログを一度に CSV 出力する際に、ダウンロードできなくなる不具合を修正しました。

サービス一覧表示の不具合修正

VMware ハードウェア監視のように、ホストリソース表示に含まれないサービスしか設定されていない場合も、ホストリソース表示のグラフアイコンが表示される不具合を修正しました。

ビジュアルマップの不具合修正

ビジュアルマップ用のアイコンアップロード画面にて、アップロードする PNG 画像の拡張子が大文字の場合、アップロードに失敗する不具合を修正しました。

Web 改ざん警告管理の不具合修正

警告ログを削除できない閲覧権限ユーザにも、警告削除の説明文が出る不具合を修正しました。

Windows イベントログ警告管理の不具合修正

警告ログを削除できない閲覧権限ユーザにも、警告削除の説明文が出る不具合を修正しました。

監視テスト機能の不具合修正

バックアップから復元を行なった際に、監視テストが不安定になる不具合を修正しました。

MSSQL 監視、RADIUS 監視で、監視は正常に行える状態でも、監視テスト機能が失敗する不具合を修正しました。

監視の不具合修正

AWS/EC2 トラフィック監視

監視の出力で誤って「Bit」と記載されていた箇所を「bits/min」に修正しました。

VMware トラフィック監視

監視の出力で誤って「Kbps」と記載されていた箇所を「kB/s」に修正しました。

WEB 改ざん監視

監視除外の行数が多すぎる際に、監視が異常終了する不具合を修正しました。

一括指定において、HTML タグにアトリビュートが付与されている際にリンクを正しく検出できない不具合を修正しました。